



IWATE BANK NEWS LETTER



平成30年4月26日

株式会社 岩手銀行

事業性理解^{※1}に基づく「株式会社門崎」への協調融資について

岩手銀行（頭取 田口幸雄）では、当行、株式会社日本政策金融公庫盛岡支店農林水産事業ならびに「いわて復興・成長支援投資事業有限責任組合」^{※2}とともに、一関市川崎町の株式会社門崎（代表 千葉祐士）に対し、事業性理解に基づく協調融資を実施しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

当行では、「事業性理解」に基づき、資金供給をはじめ様々なソリューションメニューの提供により、今後とも地域経済の活性化に貢献してまいります。

※1 「事業性理解」

お客さまの現状および課題を認識・分析し、事業の内容や成長可能性を評価したうえで企業価値向上への支援を行うこと。当行では、事業性理解を通じ、企業の集積体である地域経済・産業の底上げを図る取組みを進めています。（一般的には「事業性評価」と称されています）

※2 「いわて復興・成長支援投資事業有限責任組合」

当行、株式会社日本政策投資銀行（以下「DBJ」）、株式会社地域経済活性化支援機構（以下「REVIC」）の三者が共同出資するファンド

記

1. 融資実行先の概要

企業名	株式会社 門崎
代表者	代表取締役 千葉 祐士
本社所在地	岩手県一関市川崎町門崎字宮畑5
創業	平成11年4月
事業内容	『食で東京と一関・岩手を繋ぐ』という企業理念のもと、岩手県内および東京都内にてブランド名「格之進」（かくのしん）を冠した門崎熟成肉店舗（合計16店舗）の経営と食肉加工食品販売業（卸・小売）、飲食店運営サポート事業を営んでいます。当社の主力商品である『門崎熟成肉』は、岩手県産和牛「いわて南牛」に、当社独自の熟成方法を施すことによりブランド化に成功し、肉フェス等での総合優勝を皮切りに各種メディアでも取り上げられるなど、高い評価を得ています。

岩手銀行



IWATE BANK NEWS LETTER

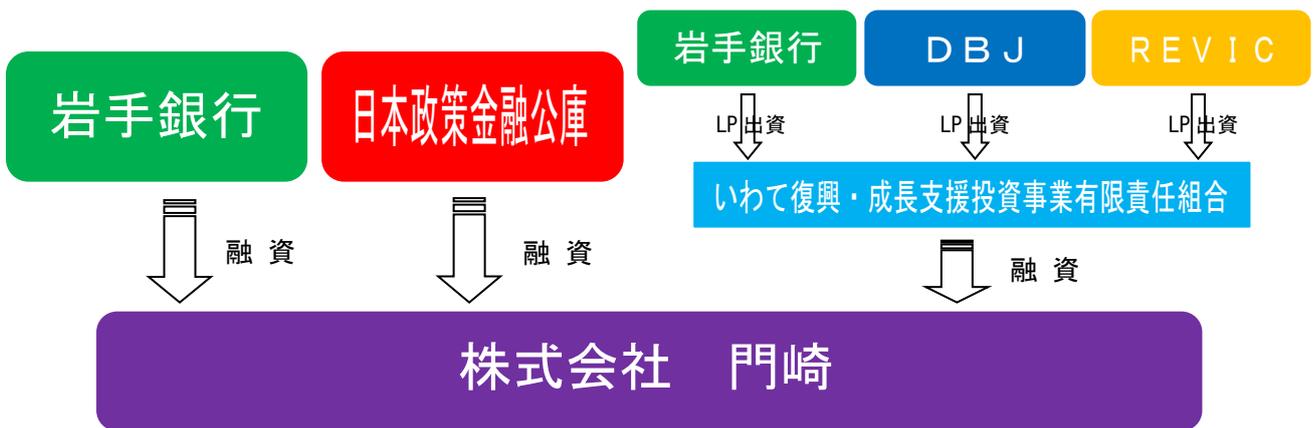


2. 融資案件の概要

今般、当社では更なる事業拡大のため、岩手県一関市の旧門崎小学校を活用して、岩手県産食材（いわて南牛、白金豚、塩麴等）を主要原材料とする焼成ハンバーグ等の食肉加工品工場の新設および東京都内での新規出店を計画し、かかる設備資金等につき協調で融資を実施しました。

本件により、地域における新たな雇用創出や、首都圏における岩手県産食材の消費拡大等の波及効果を通じた地域経済の活性化が期待されているほか、当行が平成28年3月23日付で一関市（市長勝部修）と締結した「地方創生に係る連携に関する協定」に基づく取組みとして、地場産業の振興ならびに公共施設の有効活用につながるものです。

3. 支援スキーム



以上

本件に関するお問い合わせ先
 岩手銀行法人戦略部 藤野
 電話 019-624-8543

